

## 1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館

館長 廣田 佳久

芝浦工業大学は、2027年に創立100周年を迎えます。本学では、創立100周年を見据えた「Centennial SIT Action」のもと、アジアの工科系大学トップ10入りという高い目標を掲げ、全学的な改革と挑戦を進めております。図書館もまた、教育・研究を支える学術基盤の中核として、創立100周年を一つの到達点と位置づけ、サービス機能の高度化と学術情報基盤の強化に取り組んでまいりました。

### ○オープンアクセス推進体制の整備と成果

2025年度は文部科学省「オープンアクセス加速化事業」で設定したマイルストーンの達成に向け、学術情報センター、SIT総合研究所、複合領域産学官民連携推進本部の教職員で構成する「SITオープンアクセス推進タスクフォース」のもと、「SITオープンアクセス推進プロジェクト」を推進いたしました。その成果として、教員業績システムと図書館システムを連動させた「SIT OA支援システム」の導入が完了し、論文情報の自動取得・登録および機関リポジトリを活用したオープンアクセス化の手続きを大幅に効率化することができました。また、研究データのオープンアクセス化に向けた検討も開始しております。

### ○学内施設の機能強化と利用促進

2025年1月には、豊洲図書館へ新たな通路を整備し、研究棟側からのアクセスを容易にいたしました。これにより図書館の利便性が向上し、2025年度の利用者数は大幅に増加いたしました。また、キャリアサポート課との連携により、企業情報データベース「eol」を活用した有価証券報告書による企業研究セミナーを継続的に開催しており、参加者数も年々増加しております。

### ○外部ベンチマーク調査

図書館サービスのさらなる高度化を目指し、学生の図書館利用促進に積極的に取り組む神奈川工科大学などを対象に、外部ベンチマーク調査を実施いたしました。今後は得られた知見を活かし、本学図書館の利用環境や学修支援機能の改善に取り組んでまいります。

### ○RFIDタグ導入および自動貸出機の設置

2026年1月には、豊洲図書館および大宮図書館において、全蔵書へのRFIDタグ導入が完了いたしました。あわせて、両キャンパスに自動貸出機を設置し、圖書の貸出手続きの簡素化と利用者サービスの向上を実現いたしました。

2026年度は、創立100周年を目前に控える重要な年度となります。図書館では、豊洲図書館のスマート化を計画しており、これまで進めてきたオープンアクセス推進、施設機能の強化、利用者サービスの高度化をさらに発展させてまいります。創立100周年を一つのゴールとして、図書館が本学の教育・研究活動を支える学術情報基盤として、また学生の学びと成長を支える知の拠点として、より一層進化できるよう努めてまいります。

引き続き、学内外の皆様からのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。